

研究テーマ 読解力の向上

読解力とは、教科等の枠を超えて、各教科等の土台となる能力
『文章を正確に、速く理解できる』

研究仮説

語彙を豊かにする指導の改善・充実を図れば、読解力が向上するであろう。

語彙を豊かにするとは自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。
①意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やす
②語句と語句の関係、語句の構成や変化などへの理解を通して、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語彙の質を高める

語彙を豊かにする

新学習指導要領を踏まえた授業実践

五島市学力向上
三つの提案

長崎県
授業改善メソッド

長崎県
読解力育成プラン

スキルタイム

1 学年研修の実施
学年で研究テーマを決め、実践する。
成果と課題を報告。
効果的な方法は全体に広げる。

いつ？

- ・国語科の授業
- ・他教科の授業
- ・朝の会、帰りの会
- ・スキルタイム
- ・読書の時間
- ・家庭との連携（音読・宿題など）

各学年のゴールの姿を明確にする

自信をもたせる手立て（具体例）

- ・否定せず認め合う話合いの推進
- ・ほめる（価値づけ）→良さを広げる 真似
- ・アドバイス（声かけ・ノート添削）

自信・意欲向上のための
教師の声かけ

支持的風土

信頼関係

緑丘小版 『支持的風土』

- きついこと、難しいこと、手間のかかることにくじけず取り組もうとする姿勢や構え
- 互いに助け合い、協力し合って、共に伸びようとする姿勢や構え
- 個や集団の成長を心地よく感じる感性

鍛える

テーマ設定の理由

県の教育方針（授業改善メソッド）から
・文章や情報の意味を理解し、思考する読解力は、「各教科の学力」や「学ぶ意欲」の土台となる能力であるとともに、Society5.0の時代を切り拓く子供たちに必要な能力であり、その育成が強く求められている。

児童の実態（読解力に関わっての課題のみ）から

- 短文や条件付き文章を書く
- 主語述語を活用した文づくりや話し方
- 長文を読まずに（読まずに）あきらめる
- 音読
- 語彙力
- 漢字、ローマ字、カタカナ

教師の願いから

- ・意欲的に書き、自信を持って話す子に育てたい。
- ・長文や問題にあきらめず取り組ませたい。

年間計画

1 学期	4月14日	研究の方向性について 共通実践することの確認
	5月19日	今年度の全体計画について
	6月9日	招聘授業（長大付属 橋元先生、中村先生） 講義
	6月30日	学年研修のテーマ発表、進行具合について
夏休み	8月9日	タブレットPCの研修 2 学期以降の研修について
	8月31日	2 学期に向けて共通理解
2 学期	9月8日	
	9月29日	宮崎先生国語科研究授業
	10月13日	島先生国語科研究授業
	11月10日	
	11月17日	
3 学期	1月12日	
	1月26日	
	その後	CRT学力検査分析

2 学期は

- ・ 学年部、専門部の活動について（部会）
- ・ 学年ごとの研修の成果を伝達
- ・ タブレットPCの研修 など

2 学期中に、一人
一回何らかの公開
発表を行う

研究テーマ
読解力の向上

研究仮説
語彙を豊かにする指導の改善・充実を図れば、読解力が向上するであろう。

語彙を豊かにする

年 学年研修
《研修テーマ》

児童のゴールの姿

いつ

どんな活動を

成果

課題

課題の改善に向けての取組

自信・意欲向上のための
教師の声かけ

支持的風土

信頼関係

緑丘小版 『支持的風土』

- きついこと、難しいこと、手間のかかることにくじけず取り組もうとする姿勢や構え
- 互いに助け合い、協力し合って、共に伸びようとする姿勢や構え
- 個や集団の成長を心地よく感じる感性

鍛える